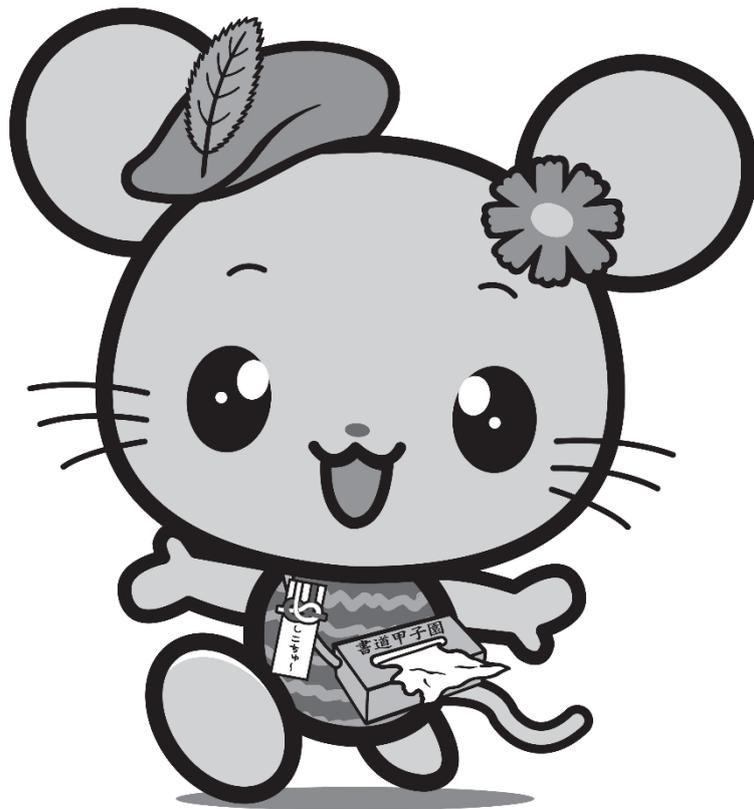


第 6 期 四国中央市自立支援協議会

第 8 回会議資料



2020 年 2 月 13 日

四国中央市自立支援協議会

## 第6期 四国中央市自立支援協議会 第8回会議

日時 2020年2月13日(木) 19:00～

会場 四国中央市消防防災センター4階 401会議室

### 1 開会の挨拶

### 2 議事

#### 【報告事項】

- ① 第6期 四国中央市自立支援協議会専門部会及び連絡会活動報告・・・P9～P17
- ② 2019年度 四国中央市就職準備フェア・・・・・・・・・・・・・・・・P18～P23

#### 【協議事項】

- ① 『太陽の家』施設更新候補地選定・・・・・・・・・・・・・・・・別紙資料
- ② 地域生活支援拠点等の整備についての部会提言・・・・・・・・P10～P14
- ③ 四国中央市障がい福祉計画進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・別紙資料

### 3 その他

### 4 閉会の挨拶

## 【拠点整備部会】

### 1、 2019年度部会開催状況

第1回 4月15日(月) 第2回 5月20日(月) 第3回 6月17日(月)  
第4回 7月8日(月) 第5回 8月5日(月) 第6回 9月25日(水)  
第7回 10月28日(月) 第8回 11月21日(木) 第9回 12月12日(木)  
第10回 1月20日(月) 第11回 3月9日(月)(予定)

### 2、 活動内容およびこれまでの成果

#### ① 地域生活支援拠点整備の検討

当部会の整備案及び提言をまとめた。※別紙資料参照

#### ② 成年後見、権利擁護啓発ハンドブックの活用

2020年度開設する成年後見サポートセンター(仮)が成年後見制度の啓発ハンドブックを作成する予定であるため、当部会では「意思決定支援」「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」の啓発を目的としたハンドブックを作成する。

障害者差別解消法に法改正の動きがあるため、今年度中におおまかなレイアウトをNPO法人心のわに依頼し、法改正の内容を盛り込んだ上で印刷作業を行いたいので、作業完了を2020年度中としたい。

### 3、 今後の協議内容

#### ① 地域生活支援拠点整備に向けて

#### ② 成年後見、権利擁護啓発ハンドブック 2020年度版の作成

# 四国中央市における地域生活支援拠点等の整備についての部会提言

四国中央市自立支援協議会拠点整備部会

## 1、整備類型

併用整備(「地域生活支援機能付障害者支援施設」「多機能支援拠点」「成年後見サポートセンター」を核に、市内の既存事業所等との連携による点的整備・面的整備を組み合わせた併用整備型)

参考資料:地域生活支援拠点整備イメージ図

## 2、各機能の具体的な内容

### 1) 相談

- ・ 基幹相談支援センター、子ども若者総合相談センター
- ・ 安心生活支援事業(24時間安心コール):24時間365日の緊急時電話相談を受け付け、関係機関への連絡調整を行うほか、必要に応じて緊急対応を行う。

### 2) 緊急時の受け入れ

- ・ 短期入所施設の活用(医療的ケア機能を含む)
- ・ 地域生活体験事業で確保している居室の提供

### 3) 体験の機会、場の提供

- ・ 地域生活体験事業:アパートの1室を市が借り上げ、宿泊体験ができる(既に民間が実施している)
- ・ 障害福祉サービス事業所が提供している利用体験

### 4) 専門的人材の確保・養成

- ・ 基幹相談支援センターが主催する研修会

### 5) 地域の体制作り

- ・ 基幹相談支援センター、子ども若者総合相談支援センターが定期的実施している連携会議
- ・ 成年後見サポートセンターの開設

## 3、地域生活支援拠点等の整備・運営における今後の課題・提言

### 1) 地域生活支援機能付障害者支援施設に求める機能

新築移転すべき障害者支援施設太陽の家の中核機能として、地域生活支援拠点併設が必須である。また、必要と考えられる機能についてまとめ、四国中央市福祉部長への提言書を作成した。

参考資料:提言書(案)

### 2) コーディネート機能の強化

地域生活支援機能付障害者支援施設に相談機能を付与し、コーディネーターを配置することで、現在コーディネート機能を果たしている基幹相談支援センターとの協働体制ができ、より強化される。

### 3) 面的整備の社会資源不足

- ・ 身体障がい者が利用できる通所事業所が少ない
- ・ デマンドタクシーに車椅子利用者が乗車できない、といった移動支援の弱点がある。

移動手段の課題については、第7回本会議において「市全体で協議する場が必要」との意見が挙がっており、当部会でもその必要性を感じている。

また、第6期四国中央市自立支援協議会資源開発部会が行ったアンケート調査でも、多くの課題が挙がっている。今後、課題解決への具体的方策の検討が必要で、その役割は自立支援協議会が担うものである。

## 4、終わりに

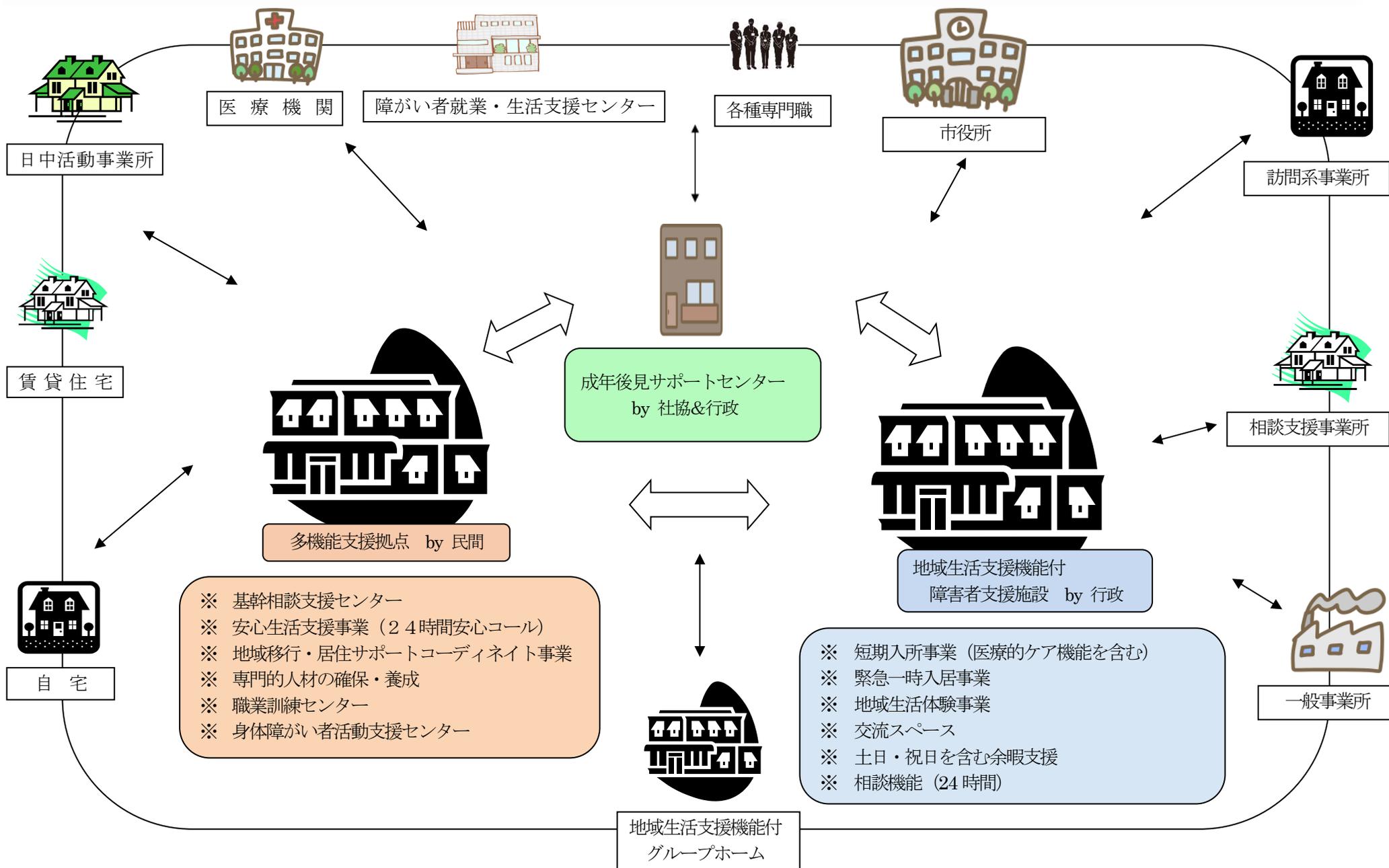
四国中央市障害者支援施設等あり方検討委員会検討結果報告書(平成30年3月 四国中央市障害者支援施設等あり方検討委員会作成)にも、市に期待される役割として「太陽の家が培ってきた専門性やノウハウを、障がい者が地域で生活していくための支援機能に置き換えていくことは、四国中央市の今後における地域福祉の基盤づくりにおいて、重要な課題であると考えられる」と明記されている。

地域生活支援拠点等の整備は、官民協働で取り組むことが望ましく、そのためには新築移転すべき太陽の家に寄せる期待は大きい。

また、平成29年4月1日施行の改正社会福祉法において、全ての社会福祉法人に対し「地域における公益的な取り組みを実施する責務」が規定された。市内の社会福祉法人が連携し「四国中央市に必要な公益的な取り組み」を実施することができれば、地域生活支援拠点等の整備はより強化される。

# 地域生活支援拠点整備イメージ図：併用整備型

(四国中央市自立支援協議会拠点整備部会案)



# 提 言 書 (案)

年 月 日

四国中央市福祉部 部長  
大西 賢治 様

四国中央市自立支援協議会 拠点整備部会  
部会長 大西 未佳

## はじめに

現在の障がい福祉に係る状況は、発達障がい児への早期支援の重要性の認識の高まりとともに、「8050問題」と呼ばれる長期の引きこもり等により引き起こされる、社会問題への対応をどうするかが問われる点の特徴となっております。

一方、四国中央市においては、市の運営する障害者支援施設太陽の家の敷地周辺が土砂災害危険区域に指定されている点、建築設備の耐用年数が迫っている点などから移転・新築の必要性に迫られています。

上記などの観点から、四国中央市自立支援協議会拠点整備部会では、地域生活支援拠点整備に向け、行政機関に求める役割について議論を進めてきました。その結果、下記の通り提言します。

## 提言 1 障害者支援施設への地域生活支援拠点の併設

新築移転すべき障害者支援施設の中核機能として、地域生活支援拠点の併設を提言します。その具体的機能として以下四項目が必須と考えられます。

### ① 短期入所機能（医療的ケア機能を含む）

短期入所施設は市内 2 箇所で開催していますが、特に週末をレスパイト目的で利用する方が多く、利用したくてもできない方達は市外や県外の短期入所施設を利用されています。

また、たん吸引などの医療的ケアが必要な方の利用ができず、市外や県外の短期入所施設を利用している現状があります。このような現状から、当市の短期入所機能強化が求められます。

### ② 緊急時一時支援機能

現在短期入所施設がこの機能を担っていますが、虐待・引きこもりなど緊急一時保護が必要な案件に速やかに対応できるよう、複数の機関にこの機能があることが望ましいと考えます。

また、児童虐待が当市で発生した際、当該児童の緊急一時保護が速やかに行える体制についての協議を、障害児等福祉審議会でも協議願いたいと考えます。

### ③ 相談支援機能

夜間や休日の相談支援体制を整えることで、緊急時対応案件を防ぐ可能性があるため、民間だけでなく行政機関にも 24 時間 365 日相談ができる体制が必要と考えます。

### ④ 休日や夜間に利用できる余暇支援及び交流スペースの設置

現在当市には夜間（夕食後以降）の余暇支援、あるいは、休日に利用できる事業所が少なく、活動が活発な年齢の方々にサービス提供の範囲を広げる必要性が考えられます。

## 提言2 障害者の雇用促進と就労支援の連携

障がいがある方については、ジョブあしすとUMAやハローワーク等の関係機関が主となり、就労相談や支援ができる体制がありますが、自らの「障がい」受容が難しい方（特に児童）についてはこのような機会が提供できず、様々な体験ができずに年月が経ってしまう現状があります。一般企業への理解及び体験ができる企業開拓が必要です。福祉分野が取り組む就労支援と企業の雇用促進の取り組みが協働しながら双方が機能するためには、産業支援課の協力が必要と考えます。

例① 公益社団法人 法皇青年会議所が主催している「しこちゅうじょぶ（仕事体験ツアー）」の実施は、非常に有意義なものですが、事業の特殊性から、一年限りの事業実施となっています。また、対象年齢も中学生までとなっています。

このような事業を継続的に、また、対象年齢を引き上げた形で事業実施することが望まれます。

例② 株式会社やまびこが、第三セクターの役割として児童、成人の職場体験ができる機会を提供するための新規事業の開拓（仕事体験・キッズニア、山林の保水力強化のための間伐事業など）をお願いしたいです。

以上、ご高配願います。

## 【資源開発部会】

### 1. 2019年度部会開催状況

第1回 4月16日(火) 第2回 5月23日(木) 第3回 6月12日(木)  
第4回 7月2日(火) 第5回 8月7日(水) 第6回 9月3日(火)  
第7回 10月7日(月) 第8回 11月11日(月) 第9回 12月11日(水)  
第10回 1月8日(水)

### 2. 活動内容

- 当事者向けアンケート調査報告書の作成
  
- 3つのアンケートをまとめた実績報告書の作成

### 3. 今後の活動予定

- 実績報告書にあがったニーズを充実していくための具体的な活動を検討・実施

## 1、2019年度部会開催状況

月1回程度実施 原則 第3月曜日 15時～16時半

第1回 4月15日(月) 第2回 5月20日(月) 第3回 6月17日(月)  
第4回 7月16日(火) 第5回 8月26日(月) 第6回 9月17日(火)  
第7回 10月21日(月) 第8回 11月19日(火) 第9回 12月16日(月)  
第10回 1月20日(月)

## 2、活動内容(取り組むべき課題について)

目標：地域で生きる(暮らす)を支援する

### ① 児童、障がい福祉・教育・介護等関係機関連携強化

『支援者研修会』の開催

⇒ 医療、福祉、介護、教育関係等市内の支援者に案内を行い、制度で途切れない支援の継続を目指し、人が繋ぐ支援体制を構築する。

※2019年9月5日(木)に実施済。研修テーマ『誰もが生涯を安心して送るために、今考えること』。話題提供と座談交流会を行う。参加者150名。

※今後、座談交流会での意見から、市の課題を部会としてまとめ、報告予定。

### ② 住民理解促進(地域共生を目指す)

地域共生部会啓発活動

入り口は防災、そして、まちづくりへ 『ぼうさい学校』の開催

開催日：2020年2月29日(土) 10時～15時

開催場所：市民交流棟、防災センター、ひめぎん駐車場

内容：別紙チラシを参照

<昨年からの発展点>

○相談支援専門員に協力を依頼し、相談受付コーナーを設ける。

○会場にひめぎんの協力を得ることができ、ひめぎん駐車場にて市内の障がい事業所等の出店(マルシェ)、炊き出し試食、体験を行う。

○各体験をできるだけ多く回って頂けるよう、スタンプラリーを開催する。

○昨年は時間指定のツアーとして行った防災センターの災害体験を常設とし、常時体験可能として多くの方の体験を呼びかける。

○市内の一般企業等に協力を依頼し、協賛品を募った(スタンプラリー景品及び当日の備品として活用予定)。数社の協力を得る事が出来た。当日に配布予定である会場案内図に協力企業として掲載予定。

○宇摩歯科医師会の協力を得て、「災害時における口の健康」と題してパネル展示予定。

○昨年以上に燧灘防災会の協力を得て、避難所体験や災害時のグッズ作り等を行う。

○ボランティアとして市内3高校に依頼。39名の高校生が協力予定。

## 【相談支援専門員連絡会】

### 1. 2019年度連絡会開催状況

第 1回 4月23日(火) 第 2回 5月23日(木) 第 3回 6月25日(火)  
第 4回 7月22日(火) 第 5回 8月30日(金) 第 6回 9月24日(火)  
第 7回 10月25日(金) 第 8回 11月25日(月) 第 9回 12月20日(金)  
第 10回 1月24日(金)

### 2. 活動内容

- ・ 困難事例の簡易スーパービジョン
- ・ 自立支援協議会部会員からの報告を受け、協議内容、進捗状況の共有
- ・ 四国中央市福祉なんでも相談会の協議（前、福祉サービス事業所説明会）
- ・ 相談業務Q&Aの作成に向けて、質問内容の検討
- ・ 新規事業者の紹介

### 3. 今後の予定

- ・ 月1回の開催予定
- ・ 計画、モニタリング、国保連への請求や加算についての学習会
- ・ 自立支援協議会への積極的参加
- ・ 相談支援の質の向上に向けて（困難事例の状況共有、事例検討）
- ・ 災害時個別支援プランの進捗状況の確認
- ・ ぼうさい学校への協力
- ・ 相談支援専門員に係る研修制度の見直しによる協力体制の検討
- ・ 四国中央市福祉なんでも相談会の開催協議

以上

～このまちで 働く気持ち 応援します～

## 2019 年度 四国中央市就職準備フェア実績報告

「障がい者就労」をテーマに、企業での障がい者雇用の取り組みを紹介したり、障がいのある方が面接等疑似体験等を通じて就労に必要なことを学んだりする場を提供することで、企業と障がいのある求職者の相互理解を深め障がい者就労の向上を目指すことができた。

- 1 主催 2019 年度 四国中央市就職準備フェア実行委員会
- 2 開催日及び場所  
日時 2020 年 1 月 16 日 (木) 12 : 30 ~ 15 : 45  
場所 市民文化ホール (しこちゅーホール)  
①エントランス②小ホール など
- 3 参加者 障がいのある方等で就労を希望する方等 約 130 人  
①来場者数 85 名②協力スタッフ数 30 名  
③協力事業所・協力者数 9

### 【受付 内訳】

所属	人数
企業	3
当事者(在宅)	6
当事者(事業所利用者)	50
当事者(学校)	3
支援者(医療関係者含む)	16
家族	2
行政	2
その他	3
合計	85

- 4 内容
  - (1) お話 (複数の企業が障がい者雇用の実際を語るセミナー)
    - ①愛美会②ダイオーエンジニアリング
  - (2) 面接 (集団面接) (企業と求職者が個別に情報交換できるコーナー※集団面接体験)
    - ①愛美会②ダイオーエンジニアリング③H I T O 病院
  - (3) 身だしなみ (ネクタイの締め方、服装など)
  - (4) ピアサポートコーナー
    - ①企業で働く当事者 2 名②心のわ
  - (5) 履歴書作成
  - (6) 相談コーナー
    - ①ハローワーク②東予若者サポートステーション
    - ③ジョブあしすと U M A ④基幹相談支援センター
  - (7) 自由閲覧コーナー
    - ①就労移行・継続 A 型事業所紹介コーナー②福祉機器展示③ D V D 上映・書籍紹介

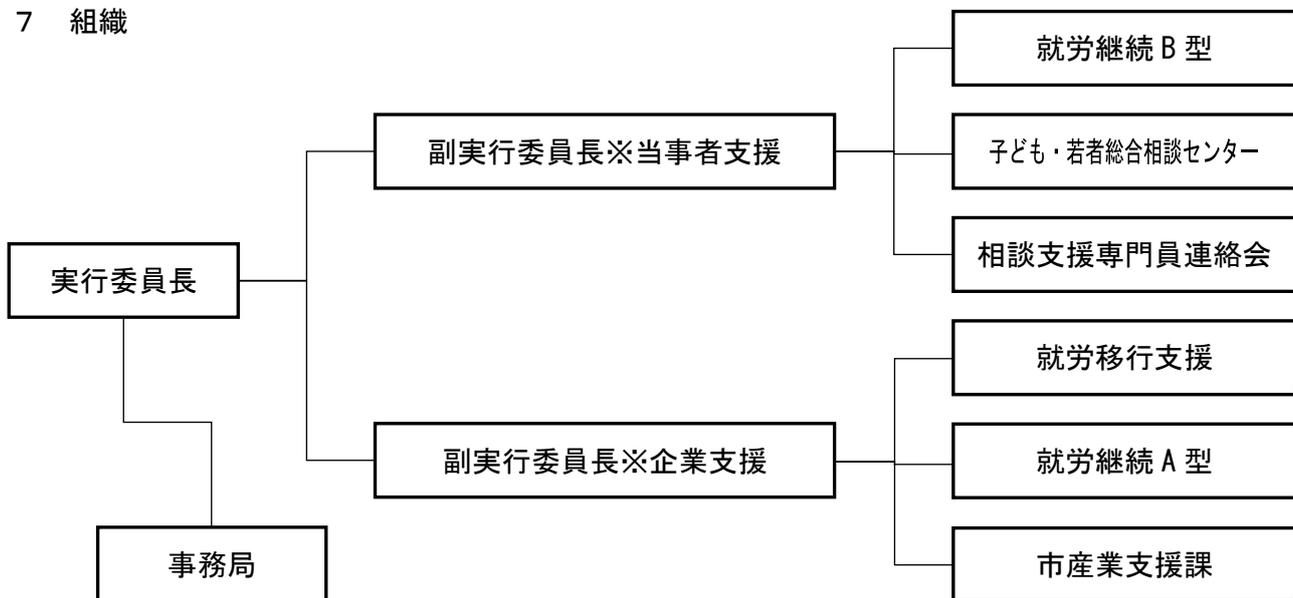
### 5 当日タイム実績

- (1) 12:00~12:30 受付
- (2) 12:35~12:45 開会・実行委員長挨拶・自立支援協議会会長挨拶
- (3) 12:45~13:40 お話
- (4) 13:50~15:40 各コーナー
- (5) 15:45 閉会・かたづけ

## 6 運営実績スケジュール

8月19日(月)	第1回 実行委員会
9月12日(金)	企業支援チーム会議(第1回)
9月24日(火)	第2回 実行委員会
10月16日(火)	当事者支援チーム会議(第1回)
10月28日(月)	第3回 実行委員会
11月22日(金)	当事者支援チーム会議(第2回)
11月26日(火)	第4回 実行委員会
12月26日(木)	第5回 実行委員会
1月7日(火)	第6回 実行委員会
1月16日(木)	就職準備フェア
1月30日(木)	第7回 実行委員会

## 7 組織



## 8 実行委員会名簿

NO	役職	氏名	所属	担当
1	実行委員長	曾我部 綾	ジョブあしすと UMA	総括
2	副実行委員長	宮部 保人	四国中央公共職業安定所	企業支援総括
3	副実行委員長	藤原 夕紀	自立支援協議会常任委員選出	当事者支援総括
4	実行委員	藤原 卓也	就労移行支援事業所 代表	企業
5	実行委員	村上 義人	就労継続 A 型事業所 代表	企業
6	実行委員	佐竹 泰	就労継続 B 型事業所 代表	当事者
7	実行委員	鈴木 秀明	自立支援協議会相談支援連絡会会長	当事者
8	実行委員	今井 ゆかり	子ども・若者総合相談センター	当事者
9	実行委員	川崎 繁俊	産業支援課	企業
10	事務局	田邊 真二	生活福祉課	事務全般

## 9 その他（アンケート結果）

### （1）参加者

#### 【フェアに関するご感想・ご意見など】

- 企業からの説明分かりやすかった。
- しこちゅうホールで就職者フェアができて、とても良かった。
- 実情を知れたので良かった。
- 相談の所で相談できて良かった。
- 会社からのお話が詳しくて良かった。ピアサポートの方もきちんと話してくれた。
- 学生向けにも伝わるようにフェアの内容を考えて頂きたい。障害の程度にもよるが、内容的に難しく感じた。
- 経営者の話が聞けて良かった。
- 集団面接時、参加者が企業を選ぶことができれば、より良かった。
- 講義やハローワークさんとの会話の中で、働いていく事で自信をつけることにより、社会の中で自分の存在価値を高められるのだと改めて分かった。
- 面接や履歴書等、就職に関わる必要な事を学ぶのにはもってこい。
- 企業担当者との簡単な面接体験ができて良かった。履歴書作成の話も聞けて良かった。

### （2）企業

#### ◇協力企業アンケート（面接）

- 集団面接1クール5名はちょっと多い。3名ぐらいが良いと感じた。
- 一人とても声の小さい方がおられ、聞き取りに苦労した。
- 採用面接本番に臨むにはちょっと難しいかな？という方が半数と感じた。
- 実際の採用面接は集団面接ではなく個別面接の方が多いと思う。個別面接を体験できるブースがあっても良いのではないか。可能であれば、個別面接体験希望者は履歴書を持参するなどすれば、より実態に近い体験ができると思う。支援担当者からはこまめに声をかけて頂いて助かった。

#### 【その他ご意見・ご要望など】

- ハローワークの相談に行ってみたかったので、時間の区切りを細かく設定して欲しい。
- ピアサポートの相談員さんは、親身になって話を聞いて下さり、とても心強かった。
- 実施に働いている人（障がい者枠）の声も聞きたいと。
- 模擬面接で、障がい者の方とお話しできて、採用のイメージが掴めた。
- 5名は、ひとりひとりの会話時間が取れにくかったので3~4名の方がやりやすかった。

### （3）スタッフ

#### 【準備】

- 事前に配布された配置のプリントの見方があまりよく分からなかったが、現場で細かく指示を頂いたので「何をしたらよいかかわからない」という事がなく良かった。
- 会場が変わったこともあるが、準備は2時間あった方が余裕をもってできたのでは。
- 事前に丁寧に準備されていた。各担当者が何をするのか明確に指示を出していただけると、よりスムーズだった。
- 多くのスタッフがいて、時間内に余裕をもってできたと思います。パネル設置も従来のパネルより数段軽く、簡単に設置できた。今回の経験で、来年はさらに短時間で準備が完了する。
- 初めての企画に参加・初めての会場という事もあり、戸惑う場面もあったが、概ね予定通りにできた。片付けは、参加者全員が帰ってからの方が良かったかなと反省している。
- 今まで参加したことがある人は、準備から本番までの流れが分かっているけれど、初めて参加された方が、どうしたらいいかわからず困っていたようなので、事前もしくは当日に少し詳しく説明して頂けたらよかった。
- 準備に意外と時間がかかり昼食時間が取れなかった人もいたよう。
- 準備は思ったより時間がかかったのもう少し準備時間を早くからしてもいい。（当日の）企業さんへのアプローチ等大変と思った。
- 楽屋は荷物を置く場所が狭かった。
- 皆さんテキパキと作業されていて良かった。
- 率直な意見として、準備の会を開くなど時間をかけすぎ。フェアの周知を行う方法が今後の集客部分でも課題になってくるのでは。今後はフェアの内容を取り入れていけるような工夫をしてみてもよいのでは。
- 2F エントランスホール等で行われた各催しについて、特にエントランスから小ホールまでの動線を十分に確保するため、コーナーの配置等を見直しては（コーナーの種類・数を精査する、小ホールを平土間として活用するなど）
- 当日の時間がタイトで各コーナーの打合せが十分でなかった。初めて顔を合わせる人もいるので、最初に短時間でも打合わせの時間を設定してほしい。
- 当事者にとっては有意義な時間であった。準備は、文化ホールでの開催で手探りの状態であったと思うが、時間配分や人員配置も適正と感じた。次回はより効率的な運営ができると思う。

- 企画について、例年行っているものに加え、身だしなみコーナーを設置したことで参加者にとって真新しいものになった。お話について、昨年の参加企業が3企業から2企業になったことで、話を聞ける業種が少なくなったため、来年度は3企業に戻し、多業種から話を聞けたら。その場合、お話し頂く時間は15~20分適当だと思う。準備について、事前の会議回数、時間等は適当だったと思う。1ヶ月の会議回数は原則1回、最大2回までとして欲しい。
- 会場がしこちゅーホールであったためパネルの運搬が不要であり会場設営の労力は少なかった。各ブースが、ほぼワンフロアに収まっていたため、参加者も迷うことなくスムーズに移動できていると感じた。
- スーツに関して、たくさんの方のご協力により十分な数のスーツが集まったが、サイズに偏りがあり、大きめサイズが不足していた。
- 実行委員会方式で進めてきたかと思いますが、やりやすくなったのか負担となったのか。
- もう少し早い時間から準備を始める事ができれば余裕が持てて良かった。リーダーが決まっていた様だが、指示をもらう事が難しい状況で、どう動いたら良いかわからない事が多かった。
- 今回しこちゅーホールで開催できたことを嬉しく思います。パネルや椅子、机等の運搬がスムーズで早く設置できました。パネルではテープの貼り替えもあり間に合うかヒヤヒヤしましたが、これも次回の勉強になりました。控室が少し狭かったように思います。
- 受付をもう少しシステムチックに、わかりやすくする方が良かったか。(半券制など)
- 備品類不足が少しあった。スタッフが確認していたので大丈夫だと思う。
- 初めての会場という事もあり、物の場所や準備時間の配分など手間取り屋休憩が取れなかった。
- 実行委員会が立ち上がり、第1回会議が8月と、開催までの準備期間が6ヶ月。今回は、初めての試みの部分があったこともあり、なかなかタイトなスケジュールだった。
- 実行委員会の方に各コーナーの準備から担って頂いたが、コーナーの内容についてつめるのが遅くなってしまったことに伴い、打合せ等も十分できず、実行委員会の方には際でご苦勞をお掛けしましたが、尽力頂いたことで当日の成功に繋がった。
- 例年と違った場所・内容での開催となり、事前準備や当日準備に手間取ったり、イレギュラーが起こったりする部分も見られました。
- 事前に会場確認出来たことや、しこちゅーホールの方々にご協力頂き、会場としては使いやすかったと思います。又、インカムの使用が出来たことで、不要な動きは省かれたと思います。

#### 【フェア全体】

- 毎年夏の暑い時期でしたが、この時期の方がイベント自体はやりやすいと感じた。
- 来場者の方は待ち時間が多かったので改善できたら。
- 新しい受付の方法になりましたが、概ねスムーズに動いていたのでは。  
後半、椅子に座っている参加者の方も多くいたため、時間いっぱい利用してもらえるような施しも必要だった。
- 昨年よりも時間のない中での準備や新しいコーナーに新しい場所での実施で何かと大変だったと想像します。
- 盛況な感じがしたので良かった。誰でも出来る時間つぶしのコーナーか何か工夫出来れば、予約の間も有意義に過ごせると思いました。
- 大勢の方に来場していただきとてもよかった。
- 昼食をゆっくり食べられる時間があれば良かった。
- 他事業所の方ともかかわりが持てて良い時間だった。
- レイアウト等例年と違うこともあったが、多くの方にご参加いただけて良かった。
- この事業は当事者に特化したもので良いと思う。企業側の参加するメリットが少ないので当日も参加が見込まれなかった。
- 企業、事業所、行政が一体となって運営でき良かった。今後も、関係構築を図るためにもこのようなイベントの重要性を感じた。
- 当事者は就職に対する意識付けができたのではないか。当日他のコーナーの様子が分からなかった為、身だしなみコーナーの状況を聞きたい。
- 会場がコンパクトにまとまり移動や案内等の負担が少なくて良かった。
- 実践的な講習の中で参加者が熱心に受講している姿に感動した。
- たくさんの方の当事者に来場していただき良かった。会場も使いやすかった。
- 各時間の予約を取られた後、「空き時間にできることはないか」と聞きに来る方が多かった。
- 来場者も多く、雰囲気も良かったと思う。
- 夏場のフェアより冬の方が疲れは少なかったように思います。スペース的に利用者が迷うことなく、目的のコーナーに行けた。
- 行きたい所に行けず、時間を有効に使えてない人がいた。
- パネルが楽で良かった。
- しこちゅーホールは有りだと思う。後は会場のわかりやすさがあれば尚良かった。
- セミナーが始まる頃、駆け込んでこられた利用者さんが多く見られ、受付を後回しにしてセミナーに参加していただいたので、受付時間とセミナーのスタート時間を調整すること等で解決できればいい。
- 場所的効果は大きかったと思う。昨年よりスーツ姿での参加の方が多かったように思う。
- 開催時間の設定(参加者の送迎とかち合う所もあった)

- 今年度は「就労」に特化した形で行うと実行委員会を通して周知もされていたせいか、来場者もスーツ等で来場される方が多かったように思われ、目的に沿った雰囲気になっていた。
- 学生服姿の高校生と母親というペアが2~3組いたことが昨年とは違っていたように思う。興味、関心が学生にも広がっている実情を感じた。
- 全体的に時間が押した。
- エントランスが少々手狭。

#### 【受付】

- 受付が渋滞していた。受付は入ってすぐに見える位置がいいのでは。
- 受付に行列が出来ていたので事前に予定が立てられたり、受付口を増やしたり、第一希望ごとの受付口にするなど改良が必要か。
- 開催と同時にたくさん受付に人がいて、客入りは良かったと思います。20分時間がおしたので、後で調整するのが大変だった。
- 予定以上の参加があり、盛況。受付が追い付かないぐらいだった。受付時間を12:00~、開会行事12:30など、少し時間を空けることで対応しやすくなるのでは。
- 受付の混雑が気になりました。
- 受付はあともう2人程いればよかった。20分ぐらいの勝負なのでそれだけのためには難しいかも。案内係の方がいるおかげでコーナーへの案内はスムーズだった。
- 参加者を受付で待たせることになり申し訳なかった。もっと効率よく受付できればよかった。
- リストにチェックしていくより、記名してもらった票を綴じていく方が無難か。
- 受付窓口が1つで、コーナーを利用しない方々（支援者等）が受付されていない人もいた。次回は受付は受付。その後、コーナー予約をする場所等、二段構えにする必要がある。
- アンケートの回収率低く、回収箱の設置場所や呼びかけに工夫がいる。

#### 【案内】

- 受付と連携しながら行った。スムーズにできた。
- 困っていそうな人に声をかけたりすることで、受付と確認し合いスケジュールをくみました。
- 来場者の中で玄関に6人もいたら入りにくいという声が一度聞かれました。

#### 【お話】

- セミナーはご利用者が聴いても難しい内容だった気がした。
- 企業側のテーマに沿った話が具体的でイメージしやすいと思った。
- 「お話」の時に、会場で聴講するスタッフは少なかった。持ち場のコーナーの準備があるのも分かるが、会場には入れる人は入って欲しかった。
- 会場に入ることに躊躇する人もいた。席までエスコートするスタッフがほしかった。
- 会場としては丁度良い大きさだった。入り口が前方にあり、お話開始までに会場内に入れなかった多くのスタッフが会場外に居た。準備時間をもう少し取って早めに会場内に時間までに入れるようにするか、誘導係を置くなどした方がよい。
- 時間が押してしまいタイムスケジュールが狂ってしまった。受付の方や全体のタイムマネジメントに支障を来してしまい、講話者の方任せにせず、タイムキープする人も必要。

#### 【身だしなみ】

- 好評だった。
- 本人がスーツ着て各コーナーを回ることが更なるモチベーション向上につながった。
- 初めてネクタイを結び、スーツを着て、面接用のスーツを買う時の参考になったと利用者が話してくれた。
- 身だしなみ担当はわかっていたが、自分自身が事前に勉強していけば良かった。
- ネクタイの結び方を知りたいと来られる方が多かった。身だしなみは、慣れが必要。あらゆる機会にネクタイを結ぶなどの講習(五分程度)があればよいと感じた。
- 大きいサイズのスーツがなく、1名の方が合うスーツがなく上着のみの着用になってしまった。次回以降、大きめサイズの確保が必要。自前のスーツを持ってくる方も多く、その方たちは身だしなみのチェックのみで良かったため、短時間で終了したため、次回から、身だしなみチェックと着替えを分けて対応すると、対応できる人数を増加できる。時間が10分押していたが、参加者が理解できていない方も多く、当初の時間で来られる方が多かった。
- スーツを着用されている方の希望があった。

#### 【面接】

- 企業を招いての面接担当との打ち合わせが必要。(休憩の要、不要など)
- 面接コーナーは企業さんが時間を持て余しているように思いました。企業さんの負担でなければ回数を増やすなどしても良いかと思いました。
- 後半に希望者が少なく、企業を待たせため、3名ずつくらい良かったのでは。

- 待機場所が1か所離れていたため、どの企業の待機場所かわかるようにしておいたら。
- 5人ずつだったので2回でほぼ終了してしまい企業さん・スタッフも手を余す状況があった。
- 集団が苦手な方もおり、1対1での面接対応はしやすかった。
- 毎年混雑するブースだったので集団にしたのは良かったと思う。
- 受付の予約が分かりにくくて最初は戸惑った。結局、待合の席で調整した。集団面接の5人は多すぎ。3名程度でもよい(時間配分が5人では調整しにくかったとのこと)。中には個別面接を希望する当事者もいたので柔軟に対応する方がよい。面接をお願いする企業も2社でも対応は可能であった。
- 前回と今回だけしか見ていませんが、前回のように一人一人の面接の方が、臨場感があっていいように思います。
- 設置場所を別の広いスペースをお借りして、待合場所の確保とゆったりとした面接コーナーを提供できれば。
- 1コマ5名だったので前半でほぼ終了していたところもあり、もう少し1コマの人数を減らすか、間で集団が難しい方用のコマを作る等の工夫が必要。
- 待機場所は面接場所と近い方が混乱なく良いのでは。

#### 【相談】

- 昨年と比べてたくさんの方が相談に来てくれた。十分お伝え出来たか。
- 担当したコーナーでは就労移行利用者7名が相談に来。現状を聞き、専用求人の方況等をお伝えした。移行の担当の方と相談し、ハローワーク利用を促した。受付の方々がしっかり調整して下さったためスムーズな相談ができた。他の相談コーナーとの兼ね合いもあるが、相談時間を15分にしよう少し多数の方と相談ができたらい。
- 5名が相談に来た。いずれの方も支援者がいる状況でしたが、「思っていることを十分に伝えきれない」と話されていたので今回の相談コーナーで話が出来たことはプラスになったと思う。面談スペース以外からの音や声が入ってくるので、相談者の声が聞き取りにくかった。「外部に聞こえてしまうのでは」と心配した。
- 受付でリクエストした機関と違うブースに入られている方がおり、待機場所では確認されていましたが、スタッフ1名での把握は難しかったのかも。
- 必要な事業所はまとめて持って来たので、混雑は無かったと思うが、当日受付の方でブースに入ってから記入をされており、担当者がひたすら待たれており、記載場所で事前に記入することが出来ていなかった。

#### 【ピア】

- 5人程相談。ずっと話をする(聞く)時間が長かったので、大変だったと思う。聞きたいことをうまくまとめにくい方もいるので、単語のボード等があるのも(事前に準備する)いい。
- 室内が寒かった。相談希望が多く、担当の方が退屈する事なく終わった。

#### 【履歴書作成】

- パワーポイントの使用が出来、会場の広さも十分であった為セミナー実施環境はこの上なく良い物だった。現場スタッフも研修中に配布物をタイミングよく配って頂きスムーズに研修を進められ。「履歴書作成コーナー」という名前だと違和感をおぼえる方がいるので「就職支援セミナー～履歴書の書き方、面接の受け方～」とコーナー名を変更して頂けるとありがたい。
- 10名ほど受けました。利用者もほとんどスーツを着て、本番のように緊張感もあった。面接の受け方の練習での、ロールプレイングではドアをノックする所からしました。次の日に面接を受ける利用者がいたので、とても勉強になり、自信を持って面接に行けると話をしてくれた。

#### 【事業所展示ブース】

- 各事業所の活動内容をパネル展示していたが、展示場所がホール玄関付近であった為、比較的展示物を見学している方が多かった。参加者が展示物を見ながら小休憩できるソファ等があれば展示ブースでの滞在時間がもう少し伸びるのでは。

#### 【全体】

- 開会行事・お話が15分ほど延長してしまったため、後の事業に影響が出た。それぞれが柔軟に対応してくれたので、よかった。基本的には今回を基準にした次回企画になると思う。

第7期 四国中央市自立支援協議会構成図（案）

